



貧困と原発のない未来へ



のぐち英一郎ニュース

ほぼ年刊！ 10億円削減男

2016年号

「未来へのボタン」次の世代へ確実に

私の議会質問を見てくださった方から「なぜいつも、そんなに一生懸命政治をやっているの？」野口くんはいつも突っ走っていると言われることがあります。私は、地域と人の営みは、みんなで取り組むリレー走だと考えています。常に全力疾走している理由は、私が過労を通して預かっているボタンを「住みよい今の暮らしを、より良くし、未来世代に譲す」ためです。

ところが、この「未来へのボタン」は、届ける方も受け取る方もとても気をつけて意識を向けないと、簡単に世代間の手からこぼれ落ちてしまうのです。

今日は、未来へのボタンを落としかねない、現在鹿児島市が抱えている問題をお知らせします。

鹿児島をいたただき16年、のぐち英一郎の真摯な次世代への

人口が減り、税収も減る中で、今までのように巨大な施設をただ造るのではなく、有限である税金や資源、仕事を有効に市民にいきわたらせること、それが「街の最適化」です。

25年後、鹿児島市の人口は10万人減少、行政サービスの質を上げながら上手に節約

私たちの暮らす鹿児島市には、現在約61万人が住んでいます。ところが、25年後には51万人台に減少すると厚労省が予測しています。つまり6人に1人がいなくなる計算です。人口減少は、もはや日本全体で避けられない問題です。短期的な対策の立てようもなく、工夫して対応するしかありません。

つまり、これまでの行政サービスや所有する施設など、全てをそのまま維持するのが難しくなります。10万人もの人口が減るならば、取捨選択をする必要が出てくるのです。地域として、成長の限界点に達してしまっただけなので、これからはサービスの質は上げながらも、全体としてはコストを上手に削いでいくような行政デザイン（＝街の最適化）

例えば鹿児島市の場合、知事が強引に進めるスーパーアリーナ等の整備と、それに付随するような電線光路線の延伸が議論されています。現在のスーパーアリーナ構想をドルフィンポートの跡地に進めるべきではありません。20億円のぼろの税金投入、桜島防災上の不備と不足、景観の破壊、交通環境の不適、多くの観点からも利点が少ないのです。

むしろ私は、桜島を前にするあの素晴らしい景観に「百年の森」として、多様な命が共存する津波防災の森を作ること提案します。荒地に100年がかりで木を植えた明治神宮の森は、今や300万人以上が訪れる場となっています。素晴らしい景観を前に、素晴らしい森を作る。それだけでもたくさんの方の喜びの場となるのではないのでしょうか。



このからの活動目標

「10年以内実現」を目標に、これからも市民のために走り続けます



1 手あつい街に 誰もが安心できる貧困のない街へ

●子どもの貧困撲滅！ ●子育て世代とお年寄りの毎日を全力支援！

のぐちのテーマ

貧困家庭の子どものための 食費/無料学習支援/健康衛生管理/口腔・虫歯ケア
子育て世代が働きやすく、産みやすく、育てやすく、預けやすく、老いてからも心身安らく、暮らしやすい街へ

- 無認可保育所の呼称の改定と補助額の大増額
- 高齢者や交通弱者(自家用車・バス路線のない方や買い物難民)の移動支援策を充実
- 黒潮制度の普及増進
- 児童虐待の専門的な原因ケア
- 介護予防のために、健康遊具の増設や、小中学校プールの地域開放
- 提供型奨学金(返済義務なし)の大増額
- 車いす単独で乗降可能な、電停とバス停の完備
- 産後ケアの医療負担減額
- 街なか、バス停、電停にベンチを増やす
- 病気や留守まい妊娠を防ぐための性教育の充実
- 障がい者・ユニバーサルデザインによる公共施設の推進

2 よりよい税金の使い道へ 公共サービスの質は上げ、人口減の50万人都市に最適化！

のぐちのテーマ
私たちが直面する人口減少社会に向けて税金の無駄遣いをさらに減らし、本当に必要だと思うことに大切に使う行政から23年間の放置を受けた、就職氷河期世代への生活支援！

- 議員日当の廃止、報酬減額、定数削減
- 労働賃金を含む、男女平等の推進
- スーパーアリーナや観光目的の市電延伸よりも、がけ急傾斜地周辺の対策を
- 同一労働同一賃金推進のために法律知識の発信提供
- 手を抜かず風化させない原発対策
- 官製ワーキングプアをつくらない
- 遊覧計画と訓練、風向情報の発信 ●一軒5円60銭のヨウ素剤購入
- これからの時代が必要とする介護職の給料を増やす
- 子宮頸がんワクチン副反応者の救済制度
- 職業訓練校で選べる職種の大増
- 地域性を活かした鹿児島市独自のハローワークを実現

3 災害に強く景観と平和な文化を誇れる街へ

豊かな自然を未来にも伝えていける多様な文化が活発な街

のぐちのテーマ

天災と原発への対応を強化し減災の街へ/景観の誇れる街へ/多様な文化活動が活発な街へ

- 原発ゼロへ！廃炉事業へ転換を
- 再生可能エネルギーの街づくり推進
- 天災と原発事故時の情報を丁寧かつ迅速に提供
- 電力小売り自由化の公正、公平な競争促進
- 56,000人が暮らす、がけ急傾斜地周辺の対策は、総費1100億円をかけても行う
- CO₂の排出量、核廃棄物の排出を電力成分表示として義務づけ
- 地域の危険箇所情報を住民が行政に直接情報提供するITシステムの導入を
- エネルギーがどんな発電所に由来しているのかの成分表示制度へ
- ドルフィンポート跡地には、スーパーアリーナよりも多様な命が共存する百年の森を
- 文化芸術の振興や自主文化事業はみんなが楽しめる企画を公募へ
- 動物園、科学館、美術館、水族館にミュージアムショップ設置へ
- 文化芸術施設の責任者を公募



このニュースに関するすべてのお問い合わせはこちらまで
市民ネット のぐち英一郎
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 鹿児島市議会内
TEL 080-4314-1121
e-mail: eiichiro@entakuinfo
http://entakuinfo/
@entaku40
「ほぼ日刊」鹿児島市議 のぐち英一郎

『のぐち英一郎と語ろう会』
日時/1月24日(日)13時半開場 14時~16時
場所/県民交流センター東棟中研修室第2
ゲスト/鹿児島大学法文学部教授 伊藤高平 先生
社会保障の法則に際し国会で学識者として参考人に登壇、医療や保育、介護など社会保障の専門家、著作多数。
※お近くのカフェや自宅など市内全域どちらへでも伺います。お気軽にお問い合わせ、ご予約ください

よろず相談 **どこにでも伺います**
市民の方の個別の相談、いつでもお受けしております。また、プライバシーは必ず守ります。安心してご相談ください。
■生活保護の申請
■家庭、地域、職場での人間関係
■地域でのお困りごと
■在住外国人の生活相談 など

鹿児島市の現在を見つめて16年 無駄遣いを指摘し、10億円の税金を削減

何を提案しても、
市当局の返事は
「お金がありません」
それならば――

人口減少のことや街づくりなど、今までにも長らく議会でも追求してきましたが、何を提案しても市当局からは「お金がありません」と繰り返されるばかりでした。ならばというところで私は、税金の無駄遣いを指摘し、改善を求め、提案を続けました。その



▲議員の個人写真

結果、議会質問の力だけで4期16年の間に少なくとも10億円以上の税金の削減することができました。

これは鹿児島市では他に比べるものがない、のぐち英一郎の大きな成果です。

もちろん自らを削ることも忘れません。鹿児島市議は任

期4期を務めると年間2000万円もの議員年金がもらえましたが、私は全国の仲間と断りを提案し、実現しました。また、鹿児島市議全員で年間5000万円の議員報酬値上げに反対し、受け取りを拒否しています。

今の税金の無駄遣いは、未来世代へとツケを残すことにはかなりません。今後も私は分厚い財務資料を読み込んで、無駄遣いをチェックに徹しく取り組みます。

天下り人事や コネ人事に13億円 議会で追突し、 「改善、公募を約束」

鹿児島市では長年、繰返採用の噂がありました。2013年に関係者から内部告発（公益通報）をいただき、議会で徹しく追及したところ、なんと鹿児島市では、3年間でコネ人事、天下りなどの無公募人事に13億円もの税金がつかわれていたのです。特に、ある財団では、職員62人のうち47人が無公募採用でした。議会での質問の結果、教育委員長と森博幸市長に、はつきりと「改善する、できるだ

け公募にしていきたい」と話していただきました。税金による雇用を、特定の人のものから、開かれたものにしたのです。



▲議員の個人写真

「投票所が遠い」「職場の近くにあったら投票に行けるのに」って思いませんか？ のぐちの15年間の選挙が認められ、2015年の統一地方選から投票所の増設が実現しました！

ひとつは交通の便のいい中央駅近くのよかセンター、もうひとつは鹿児島大学です。大学での投票所の設置は九州では初の快挙です。のぐちは「誰もが政治に参加しやすい社会」実現に向けて、今後も市内全ての大学、その柏原ビルやショッピングモールなど、日ごろから行きやすい場所への投票所増設を呼びかけます。

九州初の快挙！大学に投票所設置！

NEWS のぐち、投票所をカエル！



税金のつがいみちをカエル！
無駄遣いを削減！
必要なことに
きちんとかう

議員生活16年で やってきたいこと

- 議員特権のひとつである議員年金の廃止を積極的に提案し、実現
- 議員報酬の値上げに反対
- 増額分を受け取り拒否
- 政府活動費の成果を報告会や本会議でどんどん発信
- ※議員年金は、鹿児島市議は任期4期務めると、年間約200万円
- ※議員報酬値上げは鹿児島市議全員で、合計年約500万円

これだけ無駄を削りました

- 毎年5千万円の美術品購入を見直し
- ↓ 遡算15年間で約10億5千万円削減
- 美術館の運営を見直し経費を削減
- ↓ 遡算13年間で約9億円削減
- 市と水道局のシステム設計の最適化
- ↓ 遡算4年間で約3億円削減

困ったときに
ひとりにしません

暮らしの中での様々なお困りごとを「よろず相談」として何い、解決してきました。

こんなことしました！

- よろず相談1000件
- （暮らしの様々なお困りごと相談）
- ホームレス生活の方に、毎週一升、年間800個のおにぎりの炊き出し
- 産後ケアの助成増額と期間延長を市に提言
- 無料学習支援や返済不要の奨学金について市に提言

環境と防災をカエル！
災害から
命とくらしを守る

台風、水害、地震、噴火災害が起こることを前提に対策が必要です。老朽化した川内原発は廃炉に、美しい自然と人々が生かされるまちづくりを、提案しました。

こんなことしました！

- 家庭用雨水タンク設置を推進
- 障がいのある方との防災ワークショップを開催
- 福祉避難所設置を提言
- 桜島の噴火対策と避難所の環境向上を市に提言
- 市民全員参加の原発事故避難訓練や、被ばく軽減のためにヨウ素剤配布を市に提言
- 風水害の停電対策に、再生可能エネルギーの分散型 発電設備のまちづくりを提案

政治とは聞かれたところで
みんなで話し合い進めていくもの。
誰かの政治ではなくわたしたちの政治に、
市民ひとりひとりに
福祉がいきわたるまちづくりに
共に変えていきましょう。
みなさまの気持ちを市政に直接伝え、
動かす役割を全力で負きます。

子どもの貧困は10年後の街に直結 貧困問題へ学習・食・らのちを支援する

子どもの5人に1人は
貧困世帯
学習支援の必要性を
訴え続ける

「子どもの貧困は10年後の街に直結する」。驚かれることも多いのですが、日本は世界で4位の貧困大国とされ、鹿児島では子どもの5人に1人が貧困世帯で暮らしていると西日本新聞で報道されています。

また、教育水準と貧困は大きく関係することがわかり、



現在では日本の中核都市のほとんどが、子どもの学習支援に取り組んでいます。もちろんこの鹿児島市にも貧困の実態があるのですが、なぜか市は「貧困問題の実態

調査には取り組まない」と明言してきました。私は議会で学習支援の必要性をずっと訴えてきましたが、ようやく近年になり「学習支援を進めるべき」という他の議員の声も本会議の場で聞こえるようになりました。

80人以上の 生活保護受給に同行 貧困連鎖を 断ち切りたい

これまでに私は、ライフワークの「よろず相談」にて貧困状態の母子家庭の相談にも立ち会いました。母子家庭は所得が少なくなる傾向があり、それは貧困を作る要因となつていきます。

これまで80人もの方々の生活保護受給に同行しています。相談のなかで、生活保護を受けられる状況であつても、保護に付随するイメージに抵抗を感じ、申請をしない事例も目立ちました。生活保護の不正受給が大々的にメディアに取り上げられているからだと思うのですが、不正受給は全体の1%に満たないです。かたや、生活保護を

必要とする状況でちゃんと保護を受けられている人は18%しかいません。日本の生活保護は、自ら申請しなくてはいいけない上に、窓口で断られたり、嫌がらせをされたり、ハードルが高いのが実態です。

今年の春に施行された「生活困窮者自立支援法」によつて、生活保護以外の支援が、これまでよりは手厚くなりま

必要とする状況でちゃんと保護を受けられている人は18%しかいません。日本の生活保護は、自ら申請しなくてはいいけない上に、窓口で断られたり、嫌がらせをされたり、ハードルが高いのが実態です。今年度の春に施行された「生活困窮者自立支援法」によつて、生活保護以外の支援が、これまでよりは手厚くなりま



不透明人事を
全面公募に大転換!

食事の時間を共有すると、心を開いてくださることがあります。すると「実はこういうことで困っている」とお話しが始まることも多いのです。貧困の支援の現場で、食事の場を共有することの大切さを、日に日に実感しています。学習支援はもちろん、食事と健康の支援など、本当に困っている人を助けるための施策こそ、NPOなど民間だけではなく、行政が正面から取り組むテーマではないでしょうか。仮に今の子どもたちが貧困状態のまま10年後を迎え、この街を構成する家庭の多くが貧困となつてしまえば、街が様々な困難に直面するであろうことは、想像に難くありません。子どもたちの貧困問題は、未来のまちづくりと密接に関わっています。未来は、明日を飛び越えてやってくることはありませ

